

これまでにいただいたご質問と回答

学校法人冬木学園

畿央大学付属広陵こども園 設置準備室

★園生活について

Q 制服(指定服)

「指定服」につきましては、制服については定めずに、動きやすい体操服などを注文できるよう準備し、購入については自由にご判断いただくことになります。これまで通っていた園の制服や、ごきょうだいが利用されていた制服などを、そのままお使いになることもできます。複数の制服などが混在することになりますが、それが園の多様性につながっていくように、職員のほうでも配慮していきたいと考えております。また保護者様とコミュニケーションをとりながら、衣服の着脱・片づけの練習などにもとりくんでまいります。

Q 園指定の帽子の色分け

制服がなく服装が様々で子どもが見分けにくくなるのではないかというご意見をいただきました。現時点では(特に外出時など)わかりにくくなることないように、カラー帽子はクラス別(3歳以上)に色分けされた共通のものを、年度ごとに園で用意いたします(費用は新年度準備費に含まれます)。

Q 年間予定・参観日

行事については園全体での「運動会・発表会」の他、クラス単位での保護者参加での行事は数多く開催したいと考えております。お仕事のある方もおられますので、行事は土曜日を中心に開催し、クラス単位での参観・給食試食会などは平日にも設定し、基本的には自由参加とします。行事は保護者様もお子様の成長を実感しながら、同時に一緒に参加して楽しめるような工夫した行事にしたいと思います。

Q 預かり保育

預かり保育は、長時間にわたる園生活も安心して楽しく過ごすことができるよう、職員配置や活動を工夫します。料金は新2号認定(就労の場合)の無償化範囲内での設定としております。これは「1日当たり」の額となりますので、朝7:30~8:30や夕18:30まで利用いただいた場合も1日分の料金となります。ご利用については事前の申し込みは不要で、スマホから登園降園時間を当日知らせていただければ、利用分を後日集計してお伝えします。なお預かり保育料には「おやつ代」も含まれております。

Q 専門講師の位置づけ

「専門講師」はアトリエ活動・英語遊び・運動遊びの分野で、特定の時間だけ習い事のような形で行うのではなく、日常的に同じ方が子どもたちとかかわることで、教育・保育の活動を充実することを目指すものです。そのため担当の先生方と連携しながら、通常のクラス活動にアドバイスいただいたり、自由遊びの中で子どもたちが交流したりできることをめざしています。子どもたちがクラスのお友だちと一緒に普段の遊び・生活のなかで体験することで、より深く楽しく子どもたちが学ぶことができると考えております。

★職員について

Q 職員の採用

職員は常勤職員 22 名・非常勤職員 10 名程度で、採用内定者は私立園・公立園で経験を重ねてこられた方がほとんどで、新卒採用の職員も意欲にあふれたしっかりした方が集まってきていただいています。皆さんしっかりと「一人一人の子どものありのままの姿を大切に」という理念に共感して応募され採用した方ですので、子どもに寄りそって教育・保育をできる先生方だと期待しております。

Q クラス分け・職員の配置

開園時は、0・1・2 歳はそれぞれ 1 クラス・職員 3 名ずつ、3・4・5 歳はそれぞれ 2 クラス・職位に 2 名ずつの配置を予定しております。2 歳児・3 歳児クラスには昼過ぎまでの時間帯で、それぞれ補助の先生をさらに 1 名ずつ配置します。3・4・5 歳クラスは複数担任制をとることで、できるだけすべての子どもに目が行き届くようにするとともに、預かり保育の時間も切れ目なく安心して過ごせる体制をとれるようにします。また 0・1・2 歳児さんも担当保育制をとり、きめ細かい保育を目指してまいります。

Q 支援が必要な子どもへの職員配置

こども園では、特別支援教育については、特に重点的に力を入れ、十分な職員配置を進めていくつもりです。特別支援教育について知識や経験のある方を積極的に採用し、ご安心いただけるような職員配置とする予定です。また大学との連携も含めた職員研修にも積極的に取り組み、すべての職員が障害や発達についての理解をもち、共に育っていくための適切なかわり方を共有・向上させてまいります。

★給食について

Q 給食について

本園では管理栄養士や調理員を直接雇用し、栄養バランスはもちろん素材の味をおいしく味わうことができるような献立を提供してまいります。遊戯室から調理室内が見えるようにしており、子どもたちが興味や期待をもてるようにしております。また菜園での野菜栽培・クッキング体験などの食育活動にも、調理スタッフと共に積極的に進めてまいります。給食のメニューは事前にお知らせし、レシピ紹介や栄養アドバイスなど食育だよりも定期的に発行し、保護者様の給食試食会なども積極的に開催したいと考えています。

Q 「主食費・副食費」

給食費はご飯などの「主食費」とおかずなどの「副食費」に分かれています。国の基準で「年収 360 万円未満相当世帯の子ども」と「全ての世帯の第 3 子以降の子ども」については、副食費については免除となっております。なおこの基準で副食費は 4,500 円とされており免除額の上限となっているため、本園でもこの金額に設定しております。

Q アレルギー対応

アレルギー対応については、アレルギー対応マニュアルを全職員で徹底し、それぞれのお子さまの状況にあった個別対応をていねいに行います。具体的には入園時にお子様の状況を確認して、調理スタッフが除去食（可能であれば代替食）を準備し、受け渡しのミスがないよう職員と掲示・名札・声掛けで確認し、

メニューによって座席を離すなどの対応をとります。また定期的に保護者さんご家庭での状況を確認しながら、お子様の成長・変化にきめ細かに対応できるよう職員にも周知してまいります。

★登降園について

Q 駐車場の利用

自家用車での送迎につきましては、駐車場も多めに用意してありますので、今のところ園からの距離などでの制限は考えておりません。短時間に送迎の車が集中する場合など、混雑の具合によって少しお時間をずらすなどの対応をお願いする可能性はあるかと思います。園行事の際には学年などで分散開催などの配慮をしつつ、同時に自家用車が集中することを避けるために、お近くの方にはできるだけ車での登園は避けていただくことになるつもりです（ご事情のある方はご利用できるようにいたします）。

Q 駐車場の安全対策

駐車場の安全対策については、広陵町による道路拡幅工事のほか、設計段階で歩行者と自動車の動線が重ならないよう十分に配慮するとともに、子どもの飛び出しをふせぐ柵・門扉などを適切に設ける計画となっています。開園直後でもありますので、進入路の確認や誘導など、建設会社と共に安全確保の体制をしっかりととります。広陵西小学校とも協議しつつ、安全対策を徹底して参ります。

Q バスの利用について

バスの利用については原則として「月ぎめ」とし、前月までに「バス利用申込書」で申請いただいて利用する形となります（往復での利用）。バスの運行はⅠ号認定（幼稚園）の長期休暇中は運休となりますので、ご協力のほどよろしくお願いします（利用料はⅠ0か月分となります）。バスの位置情報や登降園についてはICTシステム・アプリで確認できるようになる予定です。なおご利用は原則として3歳以上となっております。

Q バスの経路

バスのルートについては、願書で利用予定の方を伺ったうえで、できるだけニーズにあった形で決めたいと考えております（広陵町～香芝市を走行予定、どうしても遠方などで不可能な場合はご容赦ください）。当初予想していたよりも近隣での利用が多いようでしたら、それに合わせた運用をしていくつもりです。園バスの乗降については、駐車スペースや安全性の問題もありますので、ある程度広い場所で定点を決めて集まっていただく形を考えております。

★ICTの活用について

Q 連絡帳アプリの使用

園では保護者様用の連絡帳アプリ（スマホ用）を利用します。このアプリでは園での様子を写真付きで送ったり、登降園の時間（変更）を送ったり、欠席や緊急時の連絡、登降園時間の登録（スマホまたはタッチパネル）、バス運行状況の確認などができます。これにより保護者様と園のコミュニケーションをスムーズにおこなっていききたいと思います。使用方法については事前に詳しくお伝えして、簡単に操作できるようにし、またスマホをご利用でない方にも通常の連絡帳でのサポートを行います。

Q セキュリティ・不審者対策

園のセキュリティには登降園時間以外の施錠・出入口管理・監視カメラの設置などハード面での対応のほか、不審者対応訓練や送り迎え時の職員配置などのソフト面でもマニュアルを作成して徹底してまいります。登降園時間や園バスの運行については、ICT を活用したシステムの導入を予定しており、連絡帳アプリの導入などとあわせて、保護者様の利便性を高めていきたいと考えております。

Q 個人情報の管理

個人情報の管理については、名簿情報などの厳重な管理はもちろん、お子様の情報が園外に意図せず流出することのないよう、職員研修などをつうじて徹底します。お子様の個人がわかるような写真は、ホームページや SNS・パンフレットでは基本的に公開しない方針で、もし掲載をお願いする場合には必ずその都度承諾を得ることとします（入園時に個人情報保護方針について同意書をご提出いただきます）。

★園の設備について

Q 運動会などの場所

新しい園庭では中央に築山があるなど、グラウンドのような平らな場所は少なめにしています。日常の園庭遊びで、走り回ったり木や土で変化のある遊びをしたりできることをめざしたものです。運動会なども競技を工夫して使うこともできるかと考えておりますが、球技や広いスペースが必要な活動をするときには、少し離れますが畿央大学のグラウンドを使用することもできますので、活用していきたいと思っております。

Q 開園後の工事（二期工事）期間の対応

園庭・アトリエなどの全面完成（2023 年秋）までは一部敷地を利用できない期間があります。その期間中は、近隣公園までの散歩や、定期的に園バスで竹取公園や馬見丘陵公園などまで送迎する「ミニ遠足」を予定しており、園庭整備中は特にひんぱんに実施したいと思っています。アトリエについても建物ができる前から講師の方には来ていただき、造形活動を体験できる時間は十分にとる予定です。駐車場が完成していませんが、その期間中も送迎用の自家用車も駐車できるスペースは確保いたします。

Q18 プール・水遊びについて

プールについては管理とコストの面から、夏場だけ園庭内に設置するする組み立て式のものを利用することにしました。幼稚園などでよく利用されている丈夫なつくりのもので、普段は倉庫に収納します。2023 年の夏から利用できるように準備しています。水遊びについては事故防止を徹底するためのマニュアルを作成し、常時安全監視体制をとるなど万全の態勢で臨みます。なお水遊び用の水着については特に指定せず、ご家庭でご用意いただくことになりますのでご了承ください。

★新年度準備について

Q 新年度準備費

新年度準備費は、各園児に配布する個人用の道具箱、はさみ、のり、クレヨン、ねんど、カラー帽子および園内活動で使用する共用教材や絵本等の補充のための費用に充当します。これらは本園で用意し、補充

も行いますので、追加で保護者様にご購入いただくものではありません。また本園ではお子様の成長の記録を積み重ねて、冊子やデータの形でまとめ、保護者様にお伝えできるようにする予定です。なお本園では行事などにあたり追加で費用を徴収することは基本的にございせん。

Q「慣らし保育」・入園行事

新入園児さんは園生活に慣れるまでの期間として、入園後の1週間は原則としてお昼前までの「慣らし保育」の期間とします。その間に少しずつ職員や園生活になれて、落ち着いて過ごせるようにしたいと思います。なお2023年について、2・3号認定は4月3日、1号認定は4月6日頃に入園の予定（正式に決まり次第お伝えします）となるため、皆さんそろったところで入園行事をおこなうことになります。

Q お昼寝用のふとん

園でお昼寝をされるお子さまは、園でコット（メッシュの簡易ベッド）を用意しますので、タオルケットだけご用意をお願いします（週1回程度持ち帰り）。降園の時間と重なるため、0・1・2歳は保育室で、3・4歳は午睡用の部屋を設けて落ち着いて休めるようにします。

★その他

Q 1号認定・2号認定の変更

認定こども園では保護者の就労時間にかかわらず利用できるため、年度の途中でお仕事を始めたり退職したりした場合でも、お子様には影響なくそのまま継続して利用することができます（減免措置についても基本的にはそのままの金額となります）。ただしその場合は認定変更の手続きが必要となりますので、ご相談ください（お住いの市町村での手続きとなります）。

Q PTA 活動

PTA 活動については、既存園の PTA と協議のうえですが、活動内容はご希望のものをできるだけ引き継ぎ、今後のあり方を決めていきたいと思います。こども園では保護者様の就労形態も多様ですので、ご無理のない範囲で業務を分担していただきながら、できるだけご負担が大きくならないよう工夫しながら、積極的に園の活動にかかわりたいという方を応援できるような体制をつくっていきたいと考えています。

Q 小学校との連携

広陵西小学校とは、これまでの幼稚園同様交流など連携は引き続き行ないたいということは確認しております。今後も地域の一員として、スムーズに小学校入学への接続ができるよう、行事への参加や見学などを積極的に行なっていきたいと考えています。

Q 学生とのかかわり

畿央大学等からの実習や授業やボランティアの受け入れにつきましては、事故やトラブルがないよう、細心の注意を払ってまいりたいと思います。参加を希望する学生には、事前の活動の意義や配慮について指導を行い、自覚と責任を持って参加できるよう、事前指導・実地指導してまいります。そのため付属こども園で子どもたちとかかわるにあたってのガイドラインを策定し、徹底できるよう準備してまいります。